

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 Sun Kids

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | | 活動内容に合わせて配置換えやスペースを使い分けている | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 4 | 3 | 壁の仕切りやマットで空間分けを行っている | 独歩可能な子どもに対して転倒時の怪我予防で緩衝材マットを使用している。マットの段差があり注意が必要。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 7 | | 当日、後日その場で確認して共有している。全員に周知する | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | | 保育園や家族、地域交流など前年度コロナ禍でできていなかったことや家族の意向により改善している。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7 | | 事業所として、自己評価及び、改善の内容を公開している。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 7 | 今後検討していく | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | 外部研修、内部研修に積極的に参加している。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | 要望や課題を話し合い支援計画を作成している | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 3 | 4 | 発達段階の確認としてポータープログラム等を参考にしているが正式な使用ではない | 発達状況に合わせて検討し、活用していく |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | 1 | 保育士や児童指導員を中心に他職種の意見を出し合いチームで行っている | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7 | | 活動の工夫や内容を考慮している。季節に合わせたプログラムも行なっている | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | 1 | 利用時間に応じて活動リハビリ等を組み合わせて行っている | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | 子どもの体調や状況に合わせて、サービス計画を作成している | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | | 開始前に打ち合わせと役割分担を行っている | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | 1 | 支援開始前、終了後に必ず打合せ、振り返り等を共有している | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7 | | 日々の記録を行っており、支援の改善につなげている | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | 6か月以内毎にモニタリングを行い、サービス計画の見直しを行っている。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--------|---|-----|---------|--|
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 7 | | 自立支援や創作、余暇、地域交流を組み合わせ合わせて行っている |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | | 日々、その子供に関わっている者が参加している |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 7 | | 学校と情報共有、連絡調整を行っている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 7 | | 主治医から状態や医療的ケアについて指示をもらい、必要時確認や報告を行っている。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 7 | 2 | 就学後に利用開始した対象者いないが必要時行っていく |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 6 | 1 | 学校等と情報共有して、移行支援を行っている。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 7 | | 助言受けている。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 7 | | 公民館でのイベント等に参加している。近くの保育園や放デイ、地域のイベントで交流する機会を設けている。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 4 | 3 | 障がい者基幹相談支援センターの会議に定期的に参加している |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | | 日頃から保護者と情報共有を行っている |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 2 | 5 | 家族からの相談内容に合わせて必要時行っている |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | | 契約時に行っている |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | | 保護者からの悩み相談等に対し助言と支援を行っている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 7 | | 父母会はないが家族交流会を年1回程行い、保護者同士が情報交換をする場を設けている |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | 苦情があった場合事業所や法人内で周知、対策を行い対応している。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | | 定期的なお便りの発行、行事内容等を発信している |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 7 | | 必要時家族に同意を得て関連機関に情報提供している |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | 声掛けや絵カードを用いて意思の確認を行っている |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---|-----------------------------|
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 6 | 地域交流会やイベントを開催したり、地域のイベントにも参加している | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 3 | 4 | マニュアルをもとに1~2か月に1回訓練を行っている | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7 | | 消防・警察に訪問してもらい、災害や防犯の指導を受けている | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | | 毎年研修や勉強会を行っている | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 2 | 5 | 身体拘束を行う場面がなく支援計画に盛り込めていないが適宜必要な場合は子どもや保護者に説明し計画書に記載していく | カニューレ等自己抜去の恐れがある場合、必要時行っていく |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 7 | | 摂食によるアレルギーの対応は現在はないが、同知して摂食によるアレルギーに注意して | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | | 法人内で共有し、必要時カンファレンスを行っている | |